

# 令和元年度 県立駒林特別支援学校 学校評価のまとめ

## 1 各学部の成果と来年度に向けて

### (1) 小学部

音楽では、準備、打ち合わせ、片付け、振り返り、を毎回全職員で行うことにより、児童それぞれの実態に合った手立てを共通理解することができ、児童一人一人の力を伸ばすことができました。また、わかこま祭での学習発表では、各児童が得意なこと好きなことを発表するようにしました。意欲的に練習に取り組み、本番でも自信をもって発表することができました。また、居住地校交流では、今年度は5人の児童が実施し、小学部全員で京ヶ瀬小学校やなかよし会（地元の方々のグループ）の方との交流を行い、地域の方々とのつながりをより深めることができました。

来年度は、より一人一人の実態に応じた支援を行うために、図工では、内容によって学部合同の単元と学級毎の単元を分けて計画したいと考えています。また、生活単元では、学部の児童同士が学び合う機会をふやすために、学部全体やA組とB組合同の単元を増やしていきたいと考えています。居住地校交流では、ねらいや当校の児童の実態、交流のスケジュール等について、相手校の担当者と打ち合わせを十分にを行い、スムーズに交流活動が行えるようにして行きたいです。

### (2) 中学部

しごと学習や校内実習では、生徒の実態に合った仕事内容や支援を行うことにより、はじめの挨拶から一人一人が意識を高くもち、目標に向かって前向きに取り組む姿が多く見られました。また、学年が上がるにつれて生徒の成長した姿を見ることができました。ランニングタイムでは、一人一人が目標をもって取り組めるようにし、体力の向上に努めました。記録はもちろん、意欲面での向上も著しく、そのことが他の活動にも生かされました。生活単元学習をはじめ様々な活動で、自分の役割を果たすこと、友達と関わることを大切に取り組んできました。生徒が進んで準備や後片付けに取り組むことや誰とでも関わるのが中学部のスタンダードになりつつあります。

わかこま祭のPR活動を通しての京ヶ瀬小学校・京ヶ瀬中学校との交流や、ピアノ演奏者の三間さんと音楽交流、なかよし会（地元の方々のグループ）との交流など、地域の方たちとの交流は、生徒や参加者の実態に応じて内容も検討しながら、ぜひ今後も続けていきたいと考えています。また、修学旅行に向け、3年間でいろいろな経験を計画的に積み重ねられるように校外学習等を工夫していきます。

### (3) 高等部

生徒数が多く実態に大きな差があるので、授業の中で一人一人に合った内容を学習できるように、授業ごとにいろいろなグループを作って支援してきました。個々の生徒の実態に合った内容・支援を行うことで、力が付いてきました。職場実習の巡回を効率よく行うことにより、実習先での生徒の様子等を的確に把握し、次の支援につなげていくことで、生徒の働く力を伸ばすことができました。また、校内実習では、生徒によってはその実態に合わせて、日程の中に楽しくリラックスできるような内容の活動を取り入れることにより、気持ちを切り替えて、作業に集中する姿が多く見られました。

来年度は、より一人一人の力を伸ばしていくために、学習グループの構成・期間などさらに実態に合ったものとなるよう柔軟に進めていきます。また、校外活動・宿泊学習については、今年度の活動・回数をベースにしながら、内容の精選・充実に努めていきたいと考えています。

## 2 保護者アンケートより

ほとんどの項目で、「そう思う」「まあそう思う」の肯定的評価が90%を超えています。これは、当校の教育活動・取組に対して多くの保護者の方から高く評価していただいている結果だと捉えています。一方で、1割やそれを超える保護者の方から否定的な評価を得ている項目もあります。これらの数値も真摯に受け止め、これからも当校の教育活動がより充実したものとなるよう取り組んでいきます。

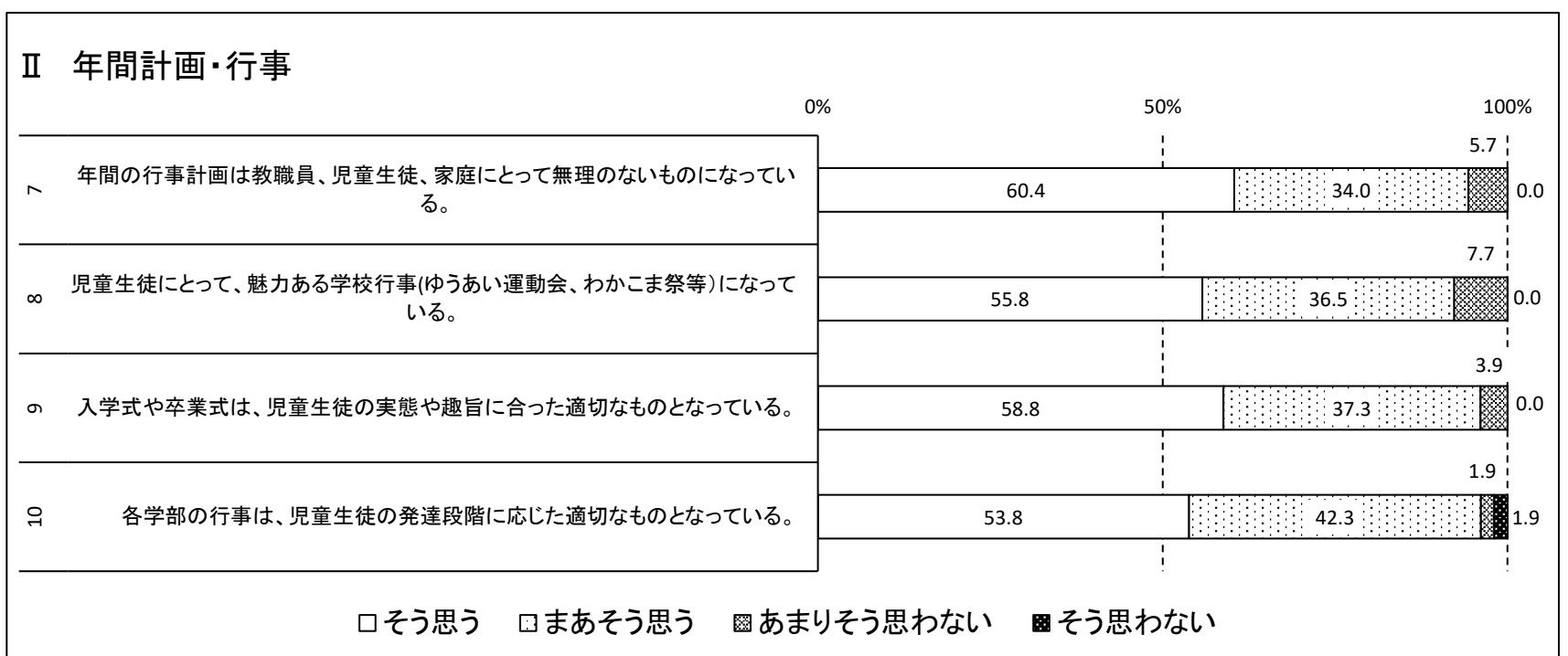
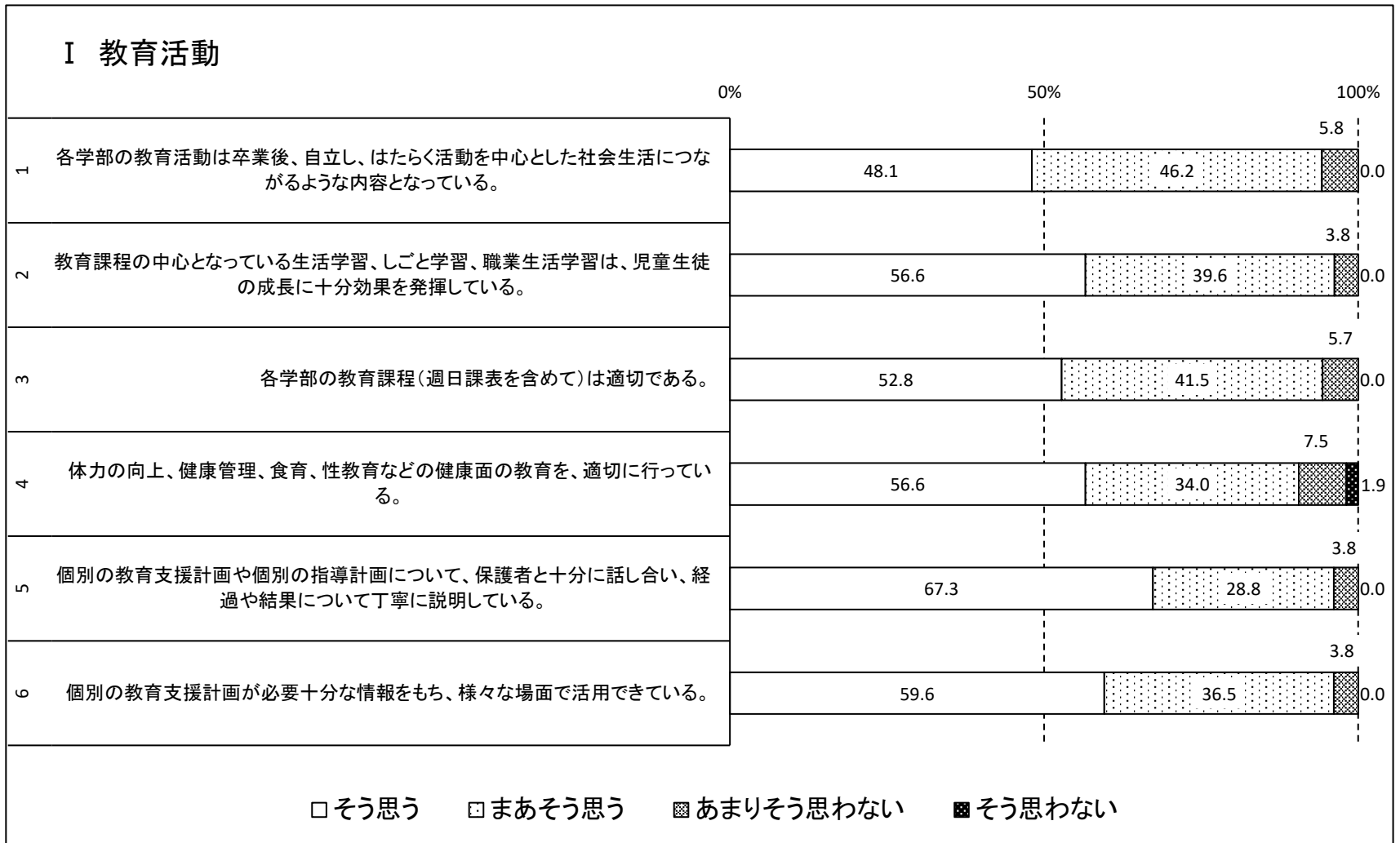
記述欄にご記入いただいたご意見では、「運動会は1回でもよいのではないか」とのご意見がありました。2回の運動会（ゆうあい運動会、駒五郎運動会）はそれぞれのねらいがあって実施してきました。駒五郎運動会は地域の運動会ですので、当校のみで実施の可否等について判断することはできません。今後、地域の方とあり方について話し合っていく方向で検討していきます。「ホームページの情報が古いので、新しいものに更新して充実させてほしい」とのご意見がありました。できることから新しい情報に更新していきます。また、「授業で日常生活に必要な力を付けてもらってありがたい」というご意見をいただきました。我々職員にとってたいへん励みになるご意見です。ありがとうございます。この他にも多くのご意見をいただきました。必要に応じて個々にお話を伺ったり、来年度の計画を立てる上で参考にさせていただいたりします。

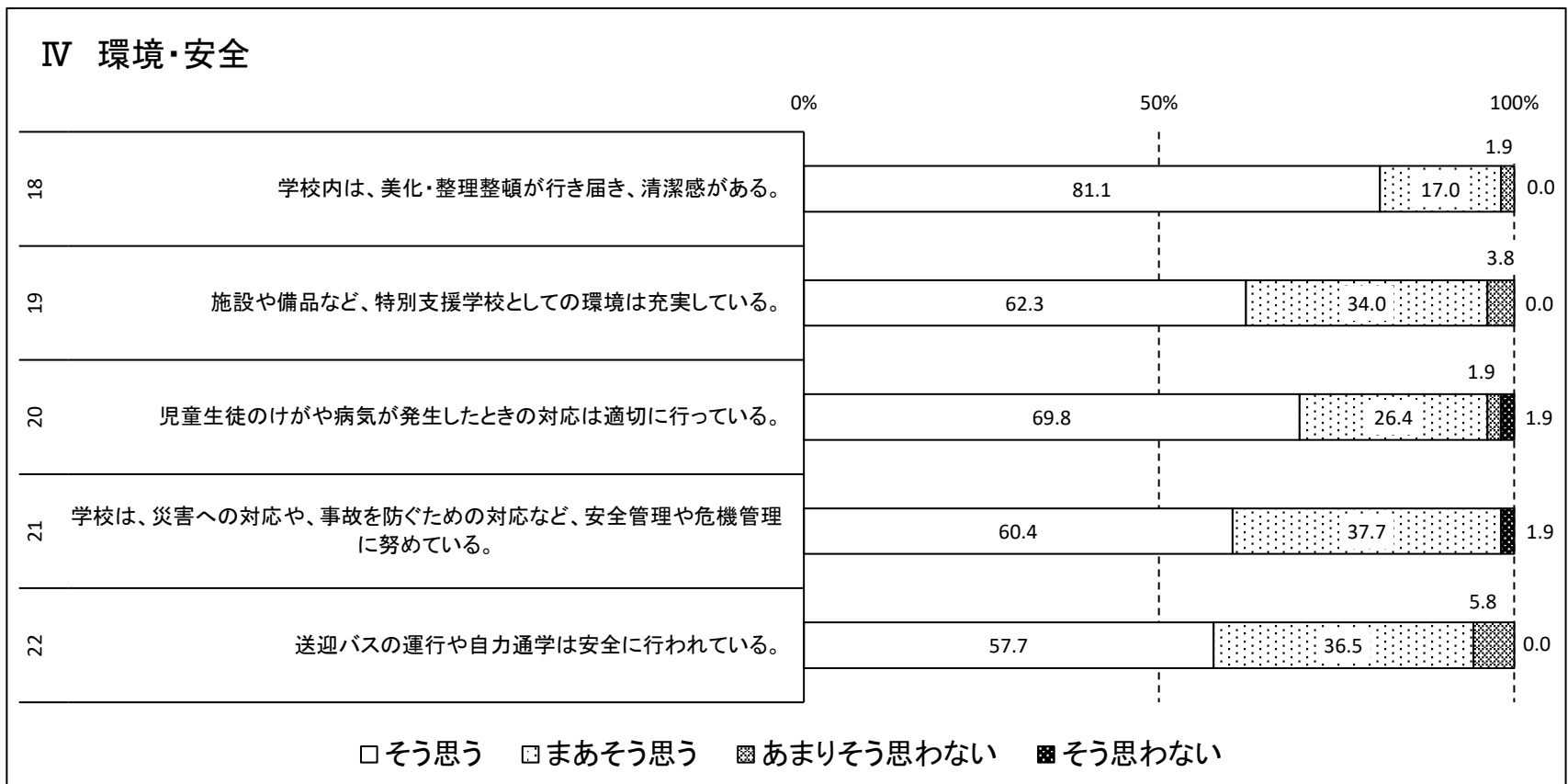
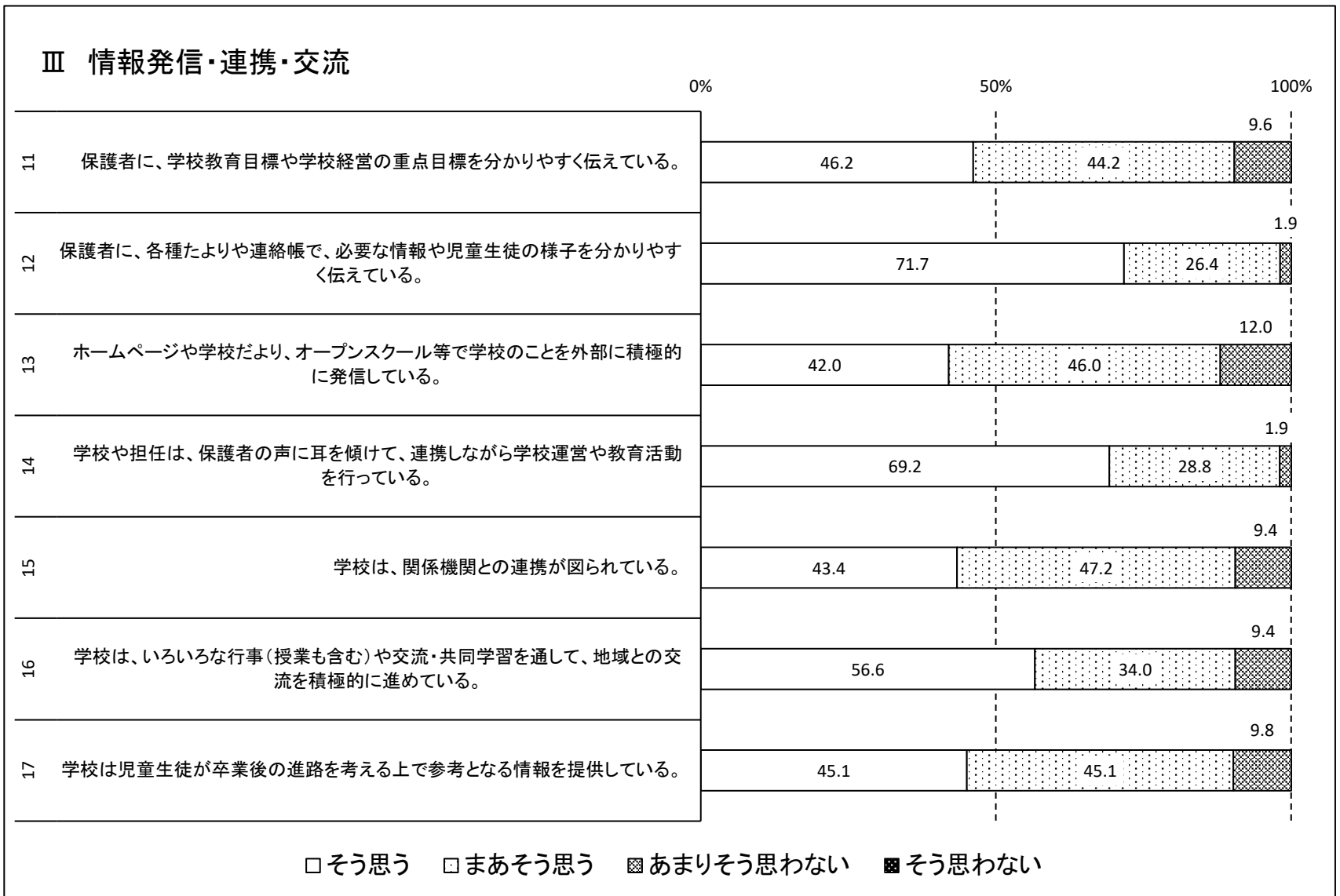
アンケートへのご協力ありがとうございました。

## 3 児童生徒アンケートより

大多数の児童生徒にとって、現在の学校生活が満足できるものとなっていると捉えることができます。一方で、「学校でできるようになりたいことや将来の夢がある」と回答した児童生徒は全体の5割でした。目標をもつことにより、日々の生活が充実したり、努力するための励みとなったりすると考えます。児童生徒が生活や将来の目標をもてるような支援をさらに工夫して行っていきます。また、×（いいえ・ない）や無回答（分からない）と答えた児童生徒が一定数います。今後とも児童生徒一人一人の思いや考えを大切にしながら、日々の教育活動を実践していきます。また、いじめについての質問項目で、○（はい・ある）と回答した児童生徒にはすでに対応しています。これからも当校の「いじめ対策基本方針」に基づいて、いじめ防止に努めていきます。

# 令和元年度 学校評価 保護者アンケート結果(回答数53 回答率86.9%)





# 令和元年度 学校評価 児童生徒アンケート結果 (回答数50 回答率80.6%)

